



「音を楽しむ ONGAKU」 ～コロナ禍で、今、音楽の授業は？～

芸術（音楽）

コミュニケーション

- (1) ねらい
- ①コロナ禍で歌ったり演奏したりすることが難しくなってしまった子ども達の音楽の時間（授業）で、音を楽しむ ONGAKU の活動を実施し、子ども達の好奇心(学習意欲)を高める。
 - ②静寂の中で小さな物音に耳を傾ける活動を通して、音を聴く楽しさ、音に心(意識)を集中させる面白さを知る。
 - ③身の回りにある様々な物から生み出される音や、簡単に作れる手作り楽器の音を楽しみ、その音を使って友達と息を合わせた合奏(アンサンブル)を演奏して達成感や仲間意識を高める。



(2) 対 象 小学校・幼稚園・保育園・親子

(3) 講 師 NPO 法人 「音」を「楽」しむ ONGAKU の会
 理事長 池田邦太郎
 （元帝京平成大学 現代ライフ学部児童学科専任講師）
 副理事長 斉藤明子
 （元東京都の小学校音楽専科教員）

(4) 形 式

- ・所要時間 45分程度 （土・日曜授業可能）
- ・教室で行います。
- ・少人数～クラス毎 5人～40人

(5) 内 容

- ①静寂の中で、普段当たり前に目にしている身の回りにある物、例えば“割り箸”や“新聞紙”“アルミホイル”から出される小さな物音に耳を傾ける（意識を集中させる）面白さを体感します。
- ②簡単手作り楽器（破けても音が出続けるスーパー紙鉄砲）をつくり、全員の息を合わせて【心が一つになる合奏(アンサンブル)】を演奏します。



(6) 費 用 「無 料」

- ・講師の社会貢献活動のため講師料はかかりません。

(7) 申込み 実施日2ヶ月前まで ⇒ホームページトップページ「申し込みフォーム」から

- ・講師の方には、当本部から連絡を取らせていただきます。
- ・詳細の打ち合わせは、講師の方と幼稚園・学校等の担当者で行ってください。

